

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 6 月 6 日現在

機関番号：33908

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2020～2023

課題番号：20K02197

研究課題名(和文) 超高齢社会における「ケアの高度化」を担う介護専門職教育—デンマークをモデルとして

研究課題名(英文) Care professional education to advance the sophistication of care in a super-aging society: Denmark as a model

研究代表者

野口 典子 (NOGUCHI, NORIKO)

中京大学・社会科学研究所・特任研究員

研究者番号：10142647

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：デンマークにおける高齢者ケアは社会システムとして「切れ目のない」社会制度として整備されている。自宅から高齢者住宅、プライセンターと運動している。例えば、認知症になったとしても、状態に応じたケアの場が提供される。こうした社会的システムが確立していることから、それぞれの現場で必要とされる介護専門職のスキルが明確であり、「業務独占」として専門職化されている。そのため、原則として自治体は、そうした介護専門職人材養成に対し、責任を持たなければならない。自治体における養成機関は比較的安定的な条件や教授陣によって教育が行われている。多様な追加教育を受ける機会があり、キャリアアップが可能となる。

研究成果の学術的意義や社会的意義

介護人材確保に苦慮しているわが国において、抜本的な介護人材養成確保方策が求められている。デンマークの実践から得た知見は以下のようなものである。高齢者ケアを社会制度としてシステムを定着させることである。介護保険制度の根幹である「介護の社会化」を実現することに他ならない。そのためにも、高齢者ケアの高度化を図ることであり、実践的スキルを示し、介護職の専門職化を明確化することである。そうしたケアの高度化を実践する人材の養成機関として、国、自治体が公的支援を充実させ、人材養成に取り組むことであると考えられる。本研究の成果は、以上の社会的方策の方向性を提示するための基礎研究さらには政策提言のための資料となる。

研究成果の概要(英文)： Elderly care in Denmark is developed as a "seamless" social system. It is linked from the home to senior housing and priority centers. Even if someone develops dementia, they are provided with a place of care appropriate to their condition. Because such a social system is established, the skills of care professionals required in each field are clear, and the profession has been specialised with a "monopoly on the job". Therefore, in principle, local governments must take responsibility for training such care professionals. Training institutions in local governments provide education under relatively stable conditions and with a teaching staff. There are opportunities for diverse additional education, enabling career advancement.

研究分野：社会福祉学

キーワード：高齢者ケア ケアの高度化 養成教育 業務独占 追加教育

研究開始当初の背景

要介護期のケアを「どこで」「だれが」「どのように」担うことが有効なのである。この模索は、わが国だけではなく、多くの国々の共通論題である。わが国では、家族介護を内包しつつ、「介護の社会化」（介護サービスを多様に利用するという方向）を政策の基調としてきた。特別養護老人ホーム（以下、特養）をはじめとする介護施設は、家族の介護が困難となった場合の施策として機能してきた。しかしながら、その利用は長い間「措置制度」を前提としてきたという経緯の中で「最低保障」というのが原則であった。そのため「ケアの質」に関する検討は必ずしも充分ではなかった。超高齢時代におけるとりわけ介護施設における「ケアの高度化」の実践の具現化とは何かを提示することで、他の社会サービスへ波及すると考えている。本研究は「ケアの高度化」を担う介護専門職を養成、確保するための教育システム、教育プログラム、さらにはその教授法を構築することが喫緊の課題であると考え、その先進的取り組みをしているデンマークに焦点をあてた。

研究の目的

介護現場を支える人材確保は、2025年には供給と需要のギャップが37.7万人（都道府県推計に基づく）との結果が公表されている。将来的な人材不足への憂慮はもとより、現段階での介護人材の確保に窮しているのが実態である。本研究は、「ケアの高度化」の実践の具現化と実践方法を示し、実践を担う介護専門職養成教育の革新を図り、介護専門職を配置することで、超高齢時代における介護サービスの安定化を可能にし、超高齢社会における高齢者ケアの基礎を構築することに寄与することにある。

研究の方法と成果

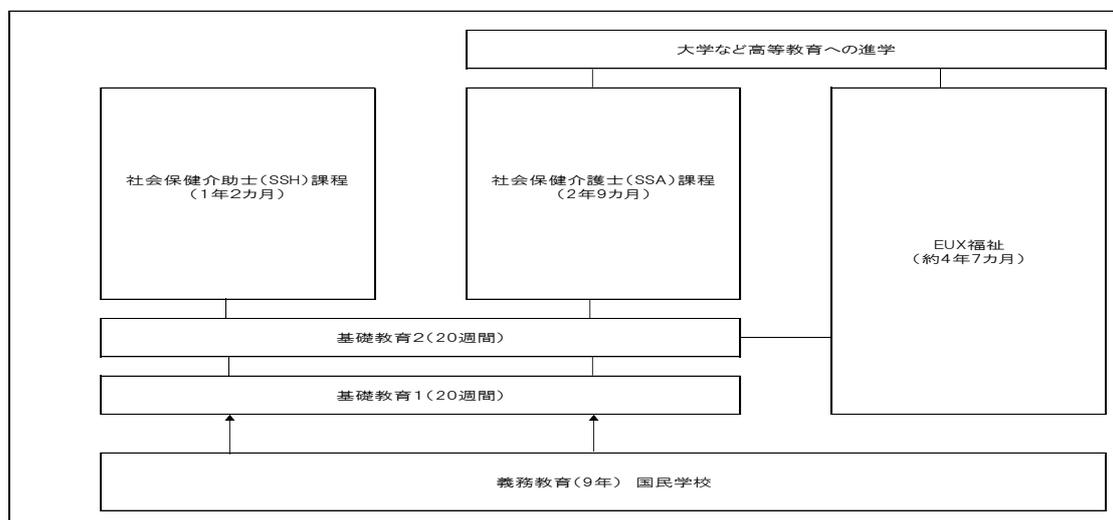
①日本、デンマークの介護専門職人材養成教育システムに関する基礎的作業

日本における介護福祉士教育の現状に関する情報収集と「認定介護福祉士」に関する教育プログラムの分析を社会福祉士養成教育との比較で行う。デンマークにおける養成課程改革（2017年度より）について分析を行った。

②プライセクターにおける介護職の基礎教育と受けてきたディプロマ教育の内容分析

デンマークにおける介護施設（プライセクター）で勤務する介護専門職が受けてきたディプロマ教育について、当事者に対し、ヒアリングを行い、教育プログラムや教授方法に関するヒアリングを実施、検討を行った。（参考資料添付）また、そうした教育実践を支えている自治体の所管部局へのヒアリングを実施した。

以下がデンマークの介護専門職養成課程の概略である。



図● 介護専門職を養成する過程

デンマークの社会保健介助士（SSA 日本におけるホームヘルパー）における基礎教育カリキュラムは以下のものである。

社会保健介助士（SSH）のカリキュラム

必須科目	保健，健康医学（コミュニケーション基礎，人間学を含む）
	身体介護の基礎，介護技術，介護理論，倫理
	社会学
	教育指導学，心理学
	アクティビティ，家事援助
選択科目	自然科学（化学・生物学）
	語学：デンマーク
	語学：英語
	社会ガイドニング法
	高齢者ガイドニング法
	国民健康と健康予測
	介護現場や職場での様々な文化の違い
	精神障害

出所：<https://sosuh.dk/media/v3bgn13b/temaoversigt-hf-ssh-start-aug-19-udg-okt-19.pdf> をもとに筆者作成

養成校における教育は、座学、実習という形態は、日本でも同様であるが、その大きな特徴は、学生個々人の適正に合わせた個別指導にある。実習が始まってから 14 日以内に、学生と実習指導者は面談を行うことになっている。そこでは、学生は文書で次のことについて用意しておくことが求められている。

- ① 実習と関係すると思われる前職や教育機関での経験について
- ② 在学中に取り組んだ課題やトピックについて
- ③ 実習の目的に対してどのように取り組むことができているか
- ④ 実習に関連する実習生の個人的な状況について

実習が終了する際にも、再度学生は実習指導者と面談をする。そこで最終評価をする。実習 1 が終わる際には、実習の評価を実習指導者が書き込み、そのフォーマットを次の実習 2 の際に持参し、次の実習の目標を立てる際などの参考にする。

もし、定められた実習期間に習得すべきことができなかつたり、期待されるレベルに達していない場合には、実習期間を延長することもある。

社会保健介護士（SSA 日本の介護福祉士に相当する）の場合、以下のような実習のフェーズごとに目標が定められている。

	目的
導入期	利用者との出会い／職場の人達と知り合いになる／実習生のことをスタッフが知り、どのような仕事をするのか理解する／学際的なチームの機能やタスクに対してどう取り組まれているのかを理解する。
学習期	定期的なミーティングやスーパービジョンを重ねていき、スキルを向上させ、合意したタスクを実施できるようになる方法について実習指導者と合意する。 技術だけでなく、理論的な背景にも注視し課題に取り組む。社会資源と課題に対する実習生の考えを理論的な知識を用いて説明できるようにする。
自立期	一緒に仕事をする職員との関係において、仕事に対する自信とルーティンを獲得できるようになる。この段階では自主的に課題に取り組むようになる。 他のスタッフなどとの協働において、自分自身の行動、態度、考え、感情について積極的かつオープンに話すことが期待される。

③専門職が担う職務範囲とその有機的連動に関する調査

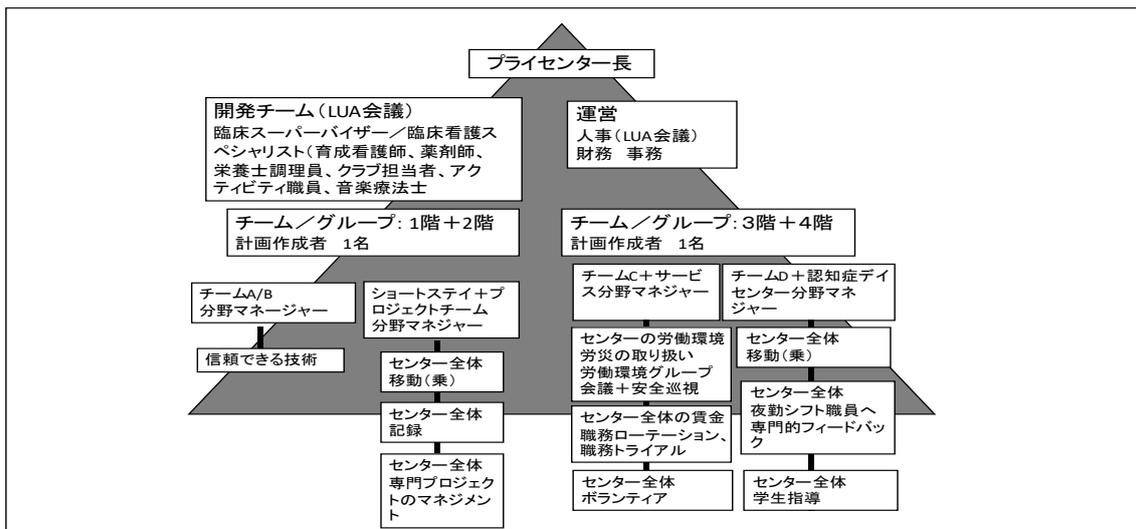
専門職をどう有機的に配置していくことにより高齢者の生活を豊かにしているのかについて、俯瞰的にプライセンターの職員配置を検討した。

以下にヒアリングで得たものを示しておく。

実際にこれらのスタッフがどのように組織化されているのかを示したのが以下の図である。プライセンター長の下に開発チーム、運営、計画作成者が2名、各チームには分野マネジャーが配置されており、そこでの担当する業務が振り分けられている。開発チームと運営チームに示されている LUA 会議とは、毎週行なわれる開発チームと運営に携わる部署の代表者による管理職会議のことである。

分野マネジャーは、スタッフ間の課題を把握し、状況に応じたマネジメント、価値観に基づいたマネジメント、ケアスタッフがケアすることが困難な状況にある住人がいた場合には、分野マネジャーが実際にケアをやってみせながら模範を示すなどがある。分野マネジャーとして求められるスタッフのスキルは、スタッフのシフト表の作成ができること、スタッフの能力と性格などを見極めて、仕事を任せること、スタッフの業績評価面談を行うとともに、チーム全体の業績評価を行うこと、キーパーソンとなること、プライセンター内での教育を担うこととされている。

スコウフセット（ Skovhuset）の組織図



職員集団として求められている能力としてピックアップしたのが、① 全員が共通した知識を持つこと、②安定したコンピテンスの向上には、高齢者のニーズを的確に判断することである。そのためには、スタッフ個々人の専門的コンピテンスをより深化し、チームや専門家グループ全体のコンピテンスを強化するためには、継続教育が欠かせない。また、各マネージャークラスに求められるのは、スタッフの能力を引き上げていくことはマネジャーが担う大きな役割である。さらに専門集団がどのようにお互いを補い合っているのか、スタッフ個人が有している知識や経験がどのように所属するユニットや日頃のケアが展開するシステムの中で影響しあうのかについて、理解しておく必要がある。そのため、個々のスタッフだけでなく、マネジャーが組織を意識しながら俯瞰してチームをみることが求められている。

追加教育プログラムについては、①労働市場トレーニングコース（AMU）、②経営アカデミーで学ぶコースなど、多様である。

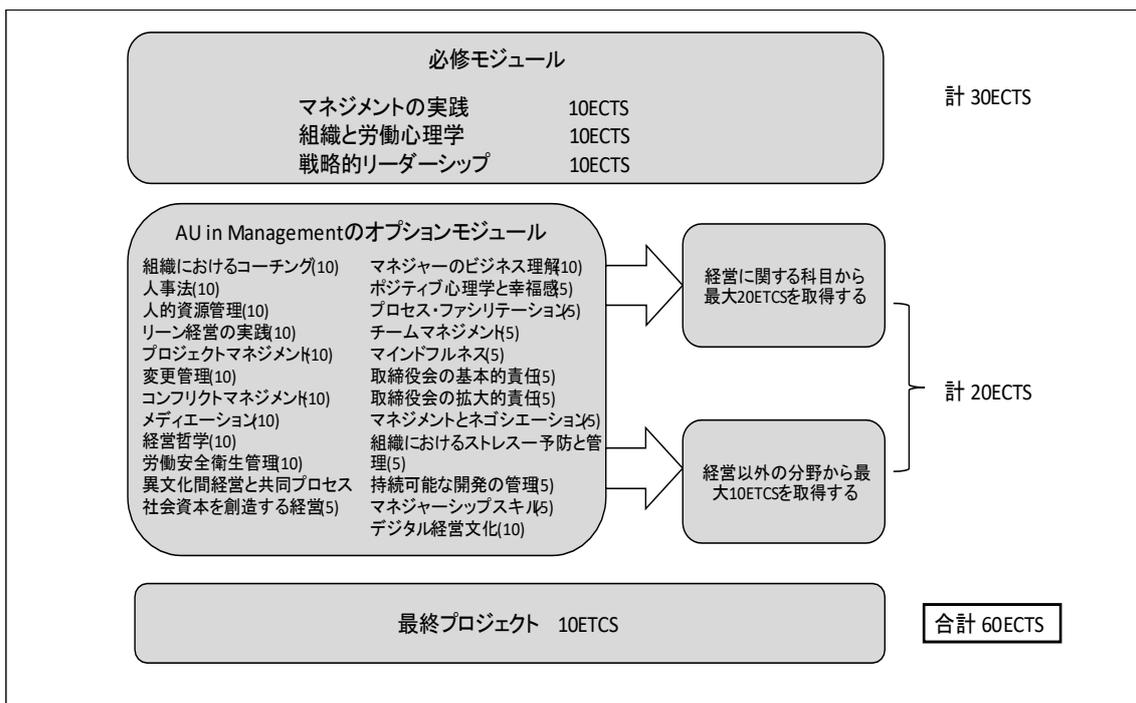
①労働市場トレーニングコース（AMU）の概略を紹介すると、以下のものである。

短期間の研修によって、職業教育の単位を取得することができるコースを AMU (Arbejdsmarkedssuddannelser) といい、これまでの実務経験は関係なく受講することができる。修了すると、教育証明書を取得することができる。リーダーシップに関する研修では下記の9つの研修が開催されている。ここでは、リーダーとしての自覚を持つこと、実践的なプロジェクト・マネジメント、変革のマネジメント、組織運営プロセスの管理、能力開発のための管理ツール、マネジメントと個人のリーダーシップ、マネジメントツールとしてのコミュニケーション、管理職のコンフリクトマネジメント、危機管理について学ぶことができる。

②経営アカデミーで学ぶコースの概略を紹介すると以下のものである。

経営アカデミーでは、戦略的・実践的な経営や労働心理学について学ぶことができる。入学条件は、関連する職業教育または中等教育+2年間の関連する実務経験があることで、修了するためには、60ECTS単位の取得が必要となる。

経営に関するアカデミー教育のモジュール



出所：STUDIEORDNING for Akademiuddannelsen i Ledelse (AU)p6を筆者翻訳

また、経営学のディプロマプログラムを受けることができる。ディプロマとは、特定のコースや学科の課程を納めて卒業した証として与えられるものである。経営学のディプロマプログラムを受講することによって、管理に関する確かな理論知識をもち、現代の組織で直面する変化や課題を分析、管理できるようになる。

④以上の調査をもとに、2023年に『デンマーク発 高齢者ケアへの挑戦 ケアの高度化と人財養成』（法律文化社）から刊行した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 野口典子	4. 巻 第15巻
2. 論文標題 わが国の高齢者施設の課題とケア実践への工夫と努力	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 中京大学現代社会学部紀要	6. 最初と最後の頁 31-78
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計1件

1. 著者名 汲田千賀子編著	4. 発行年 2023年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 205
3. 書名 デンマーク発 高齢者ケアへの挑戦 ケアの高度化と人財育成	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------